

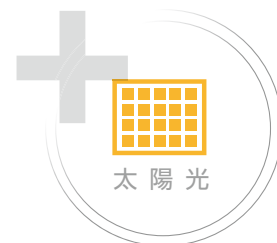
Rinnai

リンナイ株主通信

第44号

第66期 報告書

2015年4月1日～2016年3月31日



証券コード 5947

<http://www.rinnai.co.jp/>



代表取締役会長 内藤 進



代表取締役社長 内藤 弘康

平素は格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第66期(2015年4月1日から2016年3月31日まで)における営業ならびに決算の概況と今後の戦略につきまして、ご説明申し上げます。

当期における世界経済は、中国では国内需要や輸出の減速によって経済成長が鈍化し、その影響が米国や欧州、ASEAN諸国といった多くの国々への経済波及が懸念されるなど、下振れリスクが強まりました。国内経済は、企業収益や所得環境が改善されたものの、消費者マインドは力強さを欠き、先行き不透明な状況が続きました。

国内の住宅設備業界は、各種住宅取得支援策によって新設住宅着工戸数が増加基調であることに加え、利便性や環境性能の向上を求めて住宅設備を買い替える動きも底堅くあるなど、順調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは当期を初年度とする中期経営計画「進化と継承2017」を推進しています。これまでの企業文化や精神を継承するとともに、社会に役立つ新しい商品やサービスを創出するためのビジネスモデルを進化させるべく事業活動を進めてまいりました。販売面につきましては、日本・アメリカ・中国において給湯器販売が好調であったこと、オーストラリアの事業拡大が順調に進んだことおよび為替の好影響などにより売上が増加しました。損益面につきましては、海外の増収効果に加え、原価低減活動による付加価値の向上などもあり増益となりました。この結果、当期の実績は、後記のとおりとなりました。なお、期末配当金を前期比4円増配の1株につき42円、年間配当金では前期比6円増配の82円とさせていただきます。

当社グループは2015年度を初年度とする中期経営計画「進化と継承2017」を現在推進しております。「品質こそ我が命」の原点思想や創業以来培ってきた「リンナイ精神」を『継承』し、新たな時代への『進化』を遂げてまいります。国内では電力・ガスの小売り自由化や環境・省エネに対する各種政策の推進、海外においては新興国での生活水準向上や先進国での環境・省エネ製品に対するニーズの高まりなど、それぞれの事業環境の変化に対応し、新たなビジネスモデルを創出してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2016年6月

代表取締役会長

内藤 進

代表取締役社長

内藤 弘康

高い品質でご評価いただいていることを、国内外に広めます。



代表取締役社長 内藤 弘康

2016年3月期概況

Q 国内外での概況を教えてください。

2016年3月期においては、日本・アメリカ・中国において給湯器の販売が好調となり、さらに為替の好影響や海外を中心とした増収効果に加え、原価低減活動による付加価値の向上により、売上高3,199億円(前期比8.4%増)、営業利益345億円(前期比12.4%増)となりました。海外売上高比率は47.0%に達しています。

中期経営計画「進化と継承 2017」

Q 中期経営計画テーマと、初年度における成果を教えてください。

中期経営計画「進化と継承 2017」では、グループ各社がリンナイの創業精神として「品質こそ我が命」の原点思想など、品質とモノづくりへのこだわりを“継承”しつつ、“進化”することを目指しています。具体的には、さらに既存の商品やサービスをタイムリーに提供し、社会に役立つ新しい商品・サービスを創出するなど、ビジネスモデルを進化させるとともに、システム商品の拡大、海外の売上比率向上、世帯数や人口の減少などの市場環境変化への対応も同時に行ってまいります。そのためには、国内外市場における重点課題を推進しつつ、組織の活性化、人材の育成、業務の効率化など、グループ全体での力をつけていくことも必要です。これらを通じて、中期経営計画の3年においては、総合熱エネルギー機器メーカーとしてのブランドの確立を目指しています。

初年度におきましては、グループ各社が一つのベクトルに向かって進みながら、自立的に課題を見つけると同時に培ってきた技術を駆使して解決する動きが活発化し、さらにグループ全体での“地力”が向上しつつある手ごたえを感じています。

2020年(リンナイ100周年)へ向け、
総合熱エネルギー機器ブランドとして大きく飛躍

目指す姿

商品ビジョン

地球環境に貢献する総合熱エネルギー機器メーカー

地域ビジョン

世界の人々の暮らしの向上に貢献するグローバル企業

機能ビジョン

独自のビジネスモデルが人やパートナーを惹きつける企業

中期経営計画「進化と継承 2017」
(2015年4月～2018年3月)

進化への挑戦

1. 環境変化への対応
2. 進化のための重点課題推進
3. ビジネスモデルの革新

リンナイ精神の継承

「品質こそ我が命」
「熟を通じて快適な暮らしを
社会に提供する」

	2016年3月期 (実績)	2017年3月期 (計画)	2018年3月期 (計画)
売上高	3,199億円	3,370億円	3,500億円
営業利益	345億円	370億円	390億円
営業利益率	10.8%	11.0%	11.1%

Q 国内におけるエネルギー自由化による影響と取り組みを教えてください。

日本では2016年4月から家庭向けなど電力小売りが全面自由化され、2017年4月にはガス小売りの自由化が予定されるなど、消費者がエネルギー関連会社やプランを選択できる時代が本格的に始まりました。

こうしたなか、リンナイ製品においては高効率給湯器エコジョーズと電気のヒートポンプを組み合わせたハイブリッド給湯暖房機ECO ONE(エコワン)およびエコジョーズを熱源機としたシステム商品へのニーズが高まっています。日本では家庭で使用されるエネルギー総量の50%超を給湯・暖房分野が占めており、国が目指すゼロ・エネルギー住宅(ZEH*)の実現においても、安全・安心、快適性に加え、高い環境性能を有した熱機器が不可欠です。エコワンは経済性と環境性を兼ね備えた点を高く評価され、LPガス会社や住宅関連会社等からの採用が着実に増えており、増産に備えて暁工場では新工場の建設を2017年3月竣工の予定で進めています。

※ZEHは、Net Zero Energy Houseの略。省エネ化や太陽光発電等によるエネルギー創出により、住宅関連設備(空調・給湯・照明・換気)に使用する年間一次消費エネルギー量収支「ゼロ」を目指す。

Q 近年、国内外において広告宣伝に力を注いでいますが。

国内では、エネルギーの自由化によって競争激化が進み、従来以上に一般消費者が熱機器を含むエネルギー関連会社を選択する傾向が強まると予想されます。リンナイはガ

ス会社等へのOEM供給を継続しつつ、TV CMなどの広告宣伝を通じてリンナイブランドの露出を高める方針です。また、海外においても中国全土や米国での広告展開を強化したことが、着実に販売増に結びついています。

各市場でのリンナイブランドの広まりとともに、増産体制の構築と生産システムの効率化も推進することで、結果として販売推進費用等の増加を十分に吸収することができます。

Q 株式会社ガスターの連結子会社化について教えてください。

当社が、東京ガス株式会社および株式会社LIXILとの基本合意書に基づき進めてまいりました株式会社ガスターの経営権移管につきましては、2016年4月にガスターは当社の連結子会社になりました。これにより、リンナイグループは給湯器販売額において国内トップシェアとなり、ガスターは関東圏における重要な給湯器の製造・販売拠点としてグループの役割を担うものと期待しています。

株式会社ガスターの概要

代表取締役社長：渡邊尚生

設立年月：1959年8月

資本金：2,450百万円(リンナイ 議決権所有割合 90.0%)

事業内容：給湯事業(ガス給湯器の製造・販売)

さまざまな手法でお客さまや社会との接点を広げる



リンナイブランドの高品質性を訴求するTV CM



各種イベント出展を通じて、幅広い世代に省エネ製品の普及に努める(写真は「エコプロダクツ2015」)



「FIFAクラブワールドカップジャパン2015」協賛など、スポーツへの応援活動も積極的に行っている

Q 基本的なグローバル戦略と、中期経営計画期間におけるテーマとは？

過去10年で連結ベースの海外売上高は倍増し1,500億円規模に拡大していますが、中期的には海外売上高2,000億円規模、売上比率50%を目指しています。リンナイグループは、各国・各地域のニーズに即した独自性の高い商品開発を強みとし、現地生産・現地販売を基本としています。

一方で、当3カ年中期経営計画の期間中においては、さらなる品質と生産性の向上に向けて、日本の要素技術を核にグループ会社間の連携を強め、各地域の商品、例えば中国のグローバル給湯器、韓国のグローバル高効率ボイラー、ASEANのコンロ、オーストラリアの業務用連結給湯器などをグローバルな市場で水平展開する取り組みを進めています。その後、新たに製品を導入した市場でも20～30万台レベルでの需要に目途がついた時点で、現地生産に移行したいと考えています。

Q 主要な海外市場における近年の動向を教えてください。

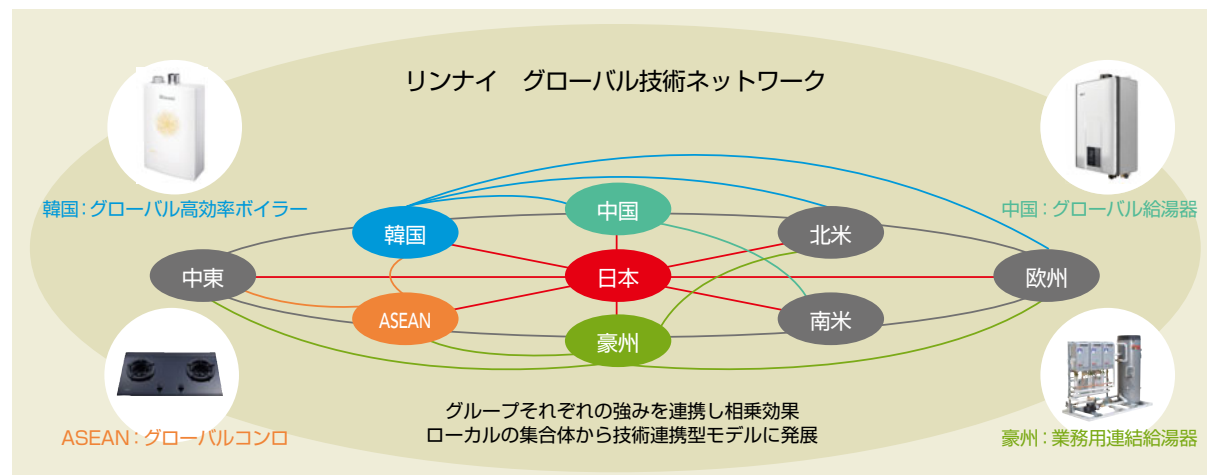
中国では小売末端での販売店舗数を増やすことで販売チャンネルを中国全土に広げ、タンクレス給湯器とボイラーの販売が好調を継続しています。2016年1月からは上海市奉賢区の新工場(生産能力:給湯器100万台、厨房機器50万台)が段階的に稼動しています。

一方、米国ではタンクレス給湯器の年間販売台数が過去最高の20万台を突破するとともに、エネルギー基準の改

正に伴い、高効率型給湯器の普及が加速しています。その他の国々でも利益率が向上していることもグループ全体での業績安定に貢献しています。さらに、ASEANや中東地域などの新規市場にも事業を拡大しています。

Q 株主へのメッセージをお願いします。

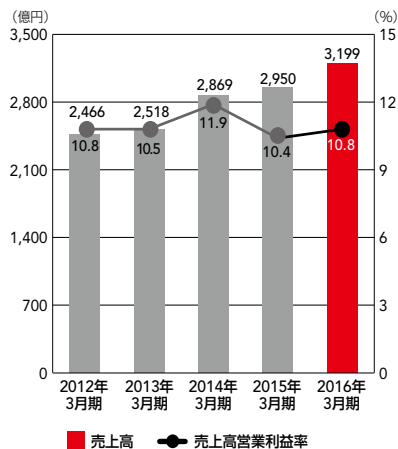
リンナイは、短期ではなく中長期的な視野で事業成長を続け、安定的に株主の皆さまに還元することを基本の考えとしています。経営基盤を強化する一環として、2016年6月からは社外取締役を2名に増員し、コーポレートガバナンスを強化いたしました。国内の経営基盤をさらに堅固にしつつ、「リンナイ=高い品質」とのご評価を維持し、総合熱エネルギー機器メーカーとしてグローバル事業を拡大いたします。今後ともステークホルダーの皆さまにはご理解とご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。



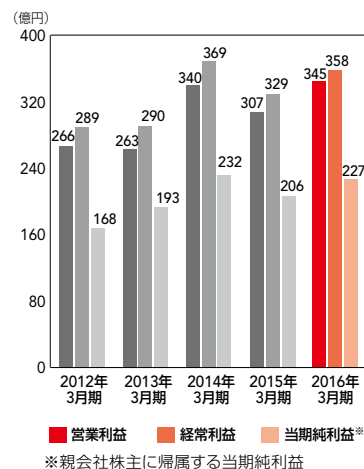
2016年3月期のポイント

- 売上高、営業利益が**過去最高を更新**
- 日本、中国、アメリカでの給湯器販売が好調であったこと、およびオーストラリアのBrivis社の連結子会社化などにより、売上高は**6期連続の増収**
- 国内外における増収効果や原価低減の成果などにより**2期ぶりの営業増益**

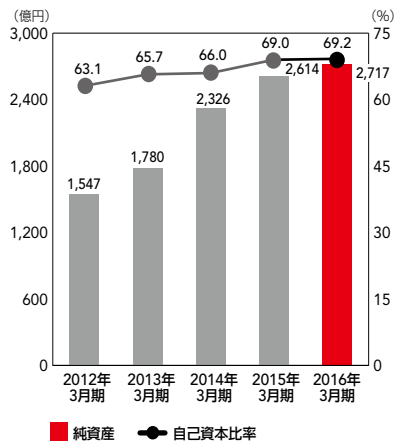
売上高、売上高営業利益率



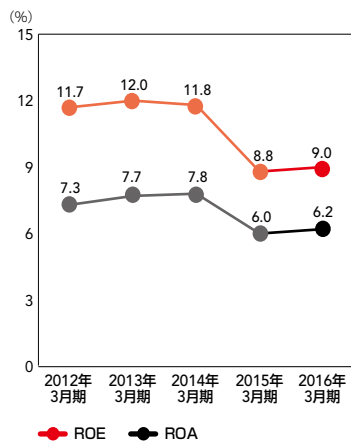
営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益



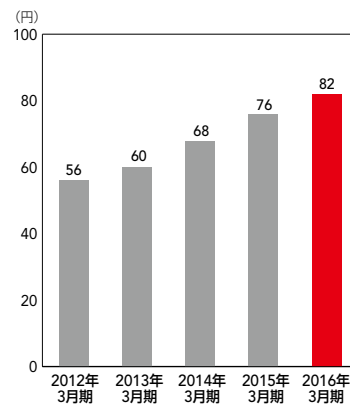
純資産、自己資本比率



ROE、ROA



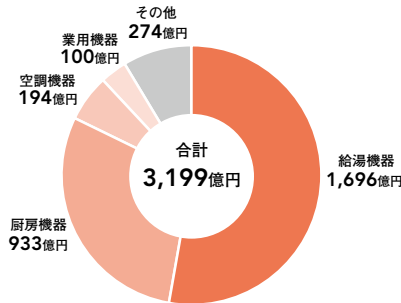
1株当たり配当金(年間)



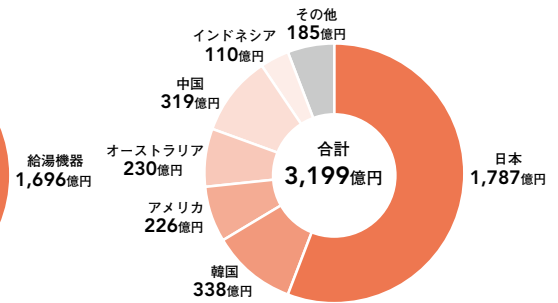
機器別売上高のポイント

- 給湯機器：国内では給湯機器全般が好調で、海外でもアメリカや中国でのタンクレス給湯器販売が伸長し**増収**
- 厨房機器：インドネシアのテーブルコンロが停滞したものの、国内のビルトインコンロやレンジフードが好調で**増収**
- 空調機器：暖冬影響により国内ファンヒーター減少も、オーストラリアのBrivis社の連結子会社化により**増収**

機器別売上高

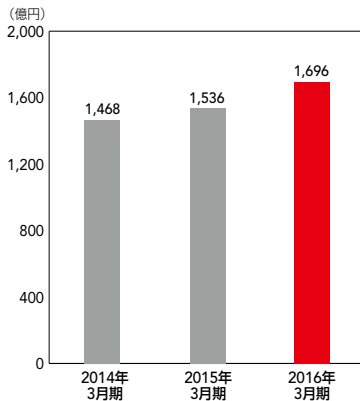


地域別売上高

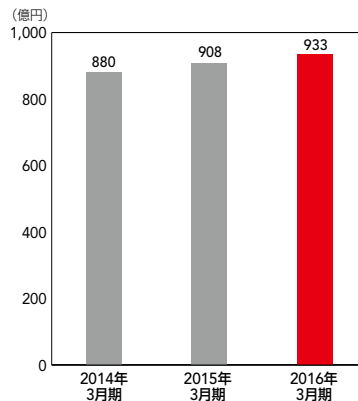


主要製品	部門主要製品
給湯機器	給湯器、ふろ給湯器、給湯暖房機、ハイブリッド給湯・暖房システム等
厨房機器	テーブルコンロ、ビルトインコンロ、オープン、食器洗い乾燥機、レンジフード、炊飯器等
空調機器	ファンヒーター、F F 暖房機、赤外線ストーブ等
業用機器	業務用焼物器、業務用レンジ、業務用炊飯器等
その他	衣類乾燥機、赤外線バーナー、部品等

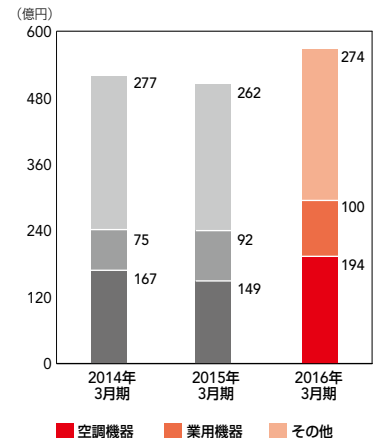
給湯機器 売上高



厨房機器 売上高



空調機器、業用機器、その他 売上高

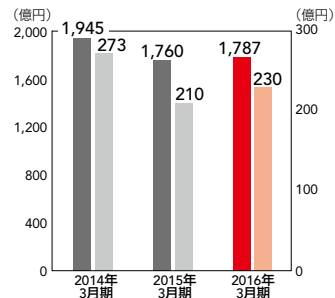


地域別概況

日本



高効率給湯器 エコジョーズ
レンジフード ビルトインコンロ
ファンヒーター



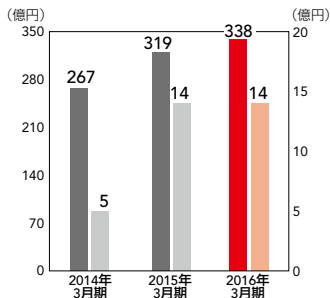
全般的な給湯器販売の好調と、機能性をアップしたビルトインコンロが伸長し **増収増益**

■ 売上高 ■ 営業利益

韓国



テーブルコンロ ボイラー
業務用スチームオープン



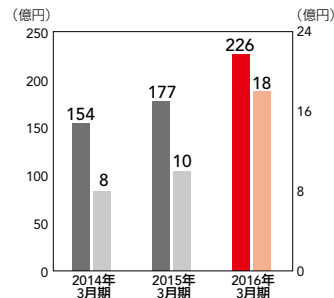
高効率ボイラーの好調に加え、テーブルコンロ需要減に底打ち感あり **増収増益**

■ 売上高 ■ 営業利益

アメリカ



タンクレス給湯器 ボイラー
FF暖房機



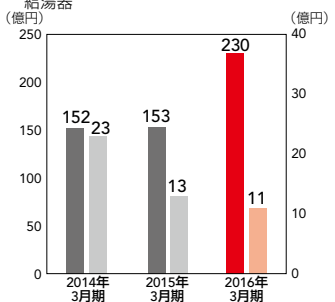
景気の回復を背景に住宅関連市場が好調でタンクレス給湯器の販売が伸長し **増収増益**

■ 売上高 ■ 営業利益

オーストラリア



タンクレス給湯器
FF暖房機
ソーラー給湯システム



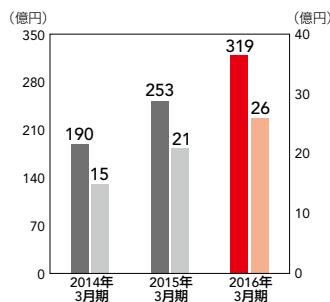
Bravis社買収による売上が増加するも、同社の買収費用を計上し **増収減益**

■ 売上高 ■ 営業利益

中国



タンクレス給湯器
ビルトインコンロ
レンジフード



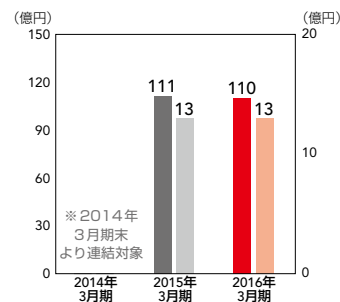
現地経済は成長鈍化も販売網拡大を推進し、地方でガス機器が普及して **増収増益**

■ 売上高 ■ 営業利益

インドネシア



テーブルコンロ
ビルトインコンロ



テーブルコンロの普及が一巡し停滞感あるも、高付加価値のビルトインコンロが好調で **減収増益**

■ 売上高 ■ 営業利益

**人気のネット販売限定コンロ第3弾
業界最大火力の家庭用テーブルコンロ
「Vamo. (バーモ)」発売**

2015年12月、「HOWARO (ホワロ)」、「Seiso (セイソ)」に続くインターネット販売限定商品として、ステンステープルコンロ「Vamo. (バーモ) *1」を発売しました。「Vamo.」は、ユーザーの声をもとに、シンプルなデザインや清掃性を追求すると同時に、調理性にもこだわり、家庭用テーブルコンロで業界最大火力*2の4,000kcal/hバーナーを搭載しました。

<http://www.vamo4000.jp>

*1 「Vamo.」は、スペイン語のvamos<(一緒に)行こう/~/しようの意>をもとにした造語です。

*2 業界最大火力-2016年4月現在、家庭用ガステーブルコンロ分野。リンナイ調べ



**投資家に魅力ある企業として高評価
リンナイが「健康経営銘柄2016」に**

リンナイ株式会社は、経済産業省と東京証券取引所が主催する「健康経営銘柄2016」に選定されました。同銘柄は東京証券取引所の上場企業から、社員などの健康管理を経営的な視点で戦略的に実践している企業を選定し、長期的な視点で企業価値の向上を重視する投資家に魅力ある企業として紹介するものです。リンナイは引き続き、健康増進活動の充実、メンタルヘルスケアの充実など従業員の健康保持・増進活動に取り組んでまいります。



**スポーツを通じて“熱”と“幸せ”を人々に届ける
豪ラグビーチーム「レッズ」とスポンサー契約締結**

2016年2月、リンナイ株式会社とリンナイオーストラリア株式会社は、オーストラリアのラグビーチーム「The Queensland Reds (レッズ)」とメジャースポンサー契約を締結しました。「レッズ」は世界最高峰のラグビーリーグ「スーパーラグビー」に参加し、現在、日本代表で活躍した五郎丸歩選手が加入しています。「スーパーラグビー」は2016年から日本を含む5カ国18チームでのリーグ戦となり、リンナイは日本とオーストラリアをつなぎながら、ラグビーチーム「レッズ」を応援してまいります。



特集

エネルギーを選べる・自分でつくる時代に、“つながる技術”で暮らしをもっと豊かに。 ハイブリッド給湯・暖房システム **ECO ONE** Eシリーズを発売！

エコワン

電気 × ガス | ECO ONEは暮らしの時間帯や用途に合わせて
電気のヒートポンプとガスのエコジョーズを最適に使分けます。

エコワンシリーズ 基本となる 3つの特長

1. **省エネ性**
給湯一次エネルギー効率
業界最高レベル **138%**^{※1}
2. **経済性**
従来のガス給湯器等と比較して
給湯コストを **61%**^{※2} 削減
3. **環境性**
ヒートポンプの冷媒に **R32** を
採用し環境負荷を低減

- ※1. ● 給湯使用時による効率(暖房使用は除く)。
● 財団法人建築環境・省エネルギー機構住宅事業建築主の判断基準(6地域)の条件を参考としたリンナイ(株)調査結果 [2015年3月現在]
- ※2. ● 年間給湯負荷 4.03Gcal。
● LPガス料金: 従来ガスふろ給湯器、ハイブリッド給湯暖房システム ECO ONE (100Lタイプ)ともに通期:450円/㎡。電気料金 25.6円/kWh(基本料金を除く平均単価)としたリンナイ(株)調査結果 [2016年3月現在]



ECO ONE | オーナーズボイス

[東京都在住S様]

震災後はエネルギーが一つだけだと不安だなと思い、ガスと電気で動くECO ONEを選びました。学習機能で、お湯を使う時間帯に合わせて貯めておいてくれるので、エネルギーを効率よく使えています。エネルギーはなるべく自給自足にしたいと設置した太陽光発電も光熱費の削減に一役買ってくれています。床暖房は、子育て中の妻が「子どもとお昼寝するときもじんわり暖かくて気持ちいい」と喜んでくれました。

ご家族構成:3人(ご夫婦・お子さま1人)

住まいの設備:床暖房(リビング10畳)、浴室暖房乾燥機、太陽光発電(4.3kW)

ECO ONE 使用年数:約1年

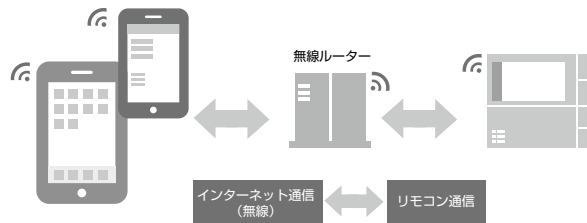
リンナイホームページでは、ECO ONE を実際にお使いのお客さまの声を掲載しています。 <http://rinnai.jp/products/waterheater/hybrid/voice/>

“つながる技術” 1

スマートフォン等のメニュー画面から、お風呂の自動湯はりやおいだし、床暖房の操作、光熱費情報等のチェックが可能となりました。(宅内限定)

ご自宅の無線ルーターとつなぐだけで、スマートフォンやタブレット端末とつながる専用リモコン

リンナイ家中どこでも給湯器リモコン(無線LAN対応)



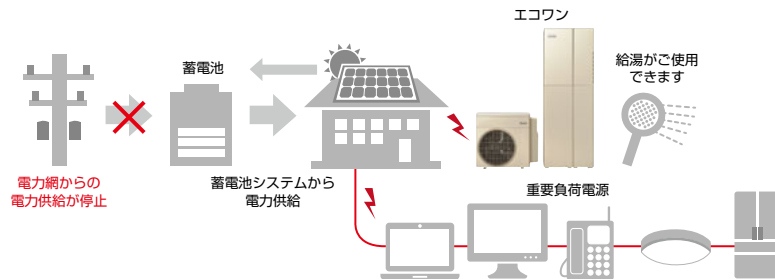
“つながる技術” 2

蓄電池対応モード:

万一の停電時には、蓄電池の電力を利用して、ガス給湯の運転ができます。

停電時にガスも停止した場合でも、限られた蓄電池の電力を有効利用するため、業界で初めてヒートポンプの消費電力を絞って給湯運転を行うことができます。

“エネルギー自給住宅”に対応

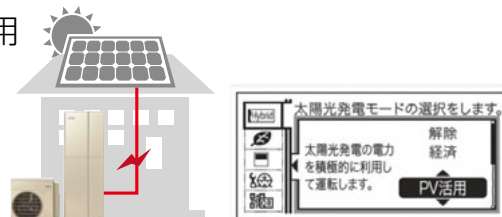


“つながる技術” 3

余剰電力を積極利用:

昼間にヒートポンプを稼働し、沸き上げ温度を通常より高くすることで蓄熱量を多くし、給湯ランニングコストを抑えます。

太陽光発電有効利用



連結貸借対照表 (単位：百万円)

当期 (2016年3月31日現在)

前期 (2015年3月31日現在)

	当期	前期		当期	前期
資産の部			負債の部		
流動資産	216,480	206,111	流動負債	82,730	79,805
現金及び預金	100,528	60,730	支払手形及び買掛金	23,163	47,616
受取手形及び売掛金	66,208	63,889	電子記録債務	28,155	254
有価証券	8,036	41,112	短期借入金	—	1,976
商品及び製品	23,461	21,670	未払金	11,409	11,031
原材料及び貯蔵品	12,608	12,812	未払消費税等	1,412	1,671
繰延税金資産	3,488	4,022	未払法人税等	5,053	4,719
その他	2,748	2,518	賞与引当金	4,025	3,377
貸倒引当金	△ 600	△ 644	製品保証引当金	3,436	2,608
固定資産	153,766	151,395	その他	6,073	6,550
有形固定資産	63,299	56,841	固定負債	15,806	16,286
建物及び構築物	20,285	18,880	繰延税金負債	6,058	8,007
機械装置及び運搬具	13,076	13,205	退職給付に係る負債	6,349	5,291
工具、器具及び備品	4,896	5,200	その他	3,398	2,986
土地	17,061	16,481	負債合計	98,537	96,091
リース資産	186	204	純資産の部		
建設仮勘定	7,793	2,869	株主資本	243,558	223,065
無形固定資産	5,887	4,365	資本金	6,459	6,459
投資その他の資産	84,579	90,187	資本剰余金	8,719	8,719
投資有価証券	64,133	64,163	利益剰余金	229,372	208,866
退職給付に係る資産	16,603	20,068	自己株式	△ 993	△ 979
繰延税金資産	988	819	その他の包括利益累計額	12,515	23,559
その他	3,261	6,058	その他有価証券評価差額金	4,066	5,921
貸倒引当金	△ 406	△ 922	為替換算調整勘定	5,288	10,046
			退職給付に係る調整累計額	3,160	7,591
資産合計	370,246	357,506	非支配株主持分	15,636	14,789
			純資産合計	271,709	261,414
			負債純資産合計	370,246	357,506

連結損益計算書 (単位：百万円)

当期 (2015年4月1日から2016年3月31日まで)
 前期 (2014年4月1日から2015年3月31日まで)

	当期	前期
売上高	319,935	295,022
売上原価	216,454	203,836
売上総利益	103,480	91,186
販売費及び一般管理費	68,886	60,399
営業利益	34,593	30,787
営業外収益	2,084	2,912
営業外費用	870	762
経常利益	35,807	32,938
特別利益	271	—
特別損失	182	—
税金等調整前当期純利益	35,896	32,938
法人税等	10,866	10,207
当期純利益	25,030	22,730
非支配株主に帰属する当期純利益	2,319	2,083
親会社株主に帰属する当期純利益	22,710	20,647

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

当期 (2015年4月1日から2016年3月31日まで)
 前期 (2014年4月1日から2015年3月31日まで)

	当期	前期
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,066	25,671
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,770	△23,649
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,554	△8,659
現金及び現金同等物の期末残高	79,600	69,340

会社データ・株式の状況

会社概要 (2016年3月31日現在)

創 業	1920(大正9)年9月1日
設 立	1950(昭和25)年9月2日
資 本 金	6,459,746,974円
本 社	〒454-0802 名古屋市中川区福住町2-26 TEL 052-361-8211 (代表)
従業員数	連結9,940名、単体3,579名

国内ネットワーク (2016年3月31日現在)

生産関連拠点：技術センター、生産技術センター、総合物流センター、リンナイパーツセンター、大口工場、瀬戸工場、旭工場、暁工場

支社：東北、関東、中部、関西、九州

支店：北海道、北東北、仙台、新潟、東京、北関東、東関東、南関東、東海、静岡、北陸、長野、大阪、京滋、兵庫、中国、四国、福岡

営業所・出張所等：(84カ所)

その他国内事業所：研修センター(10カ所)、お客様センター(2カ所)

役 員 (2016年6月28日現在)

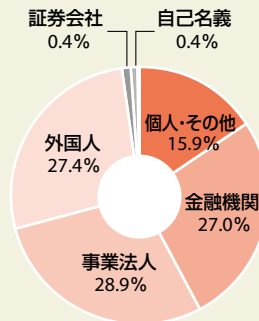
代表取締役会長	内藤 進	常務執行役員	長坂 隆	監査役(常勤)	藺田 享志
代表取締役副会長	林 謙治		吉田 雄三	監査役	石川 治彦
代表取締役社長 社長執行役員	内藤 弘康		兼子 輝将		松岡 正明
代表取締役 副社長執行役員	成田 常則		森 錦司		渡邊 一平
取締役 専務執行役員	小杉 将夫	執行役員	瀧 泰生		
	近藤 雄二		石川 文信		
取締役	松井 信行		中島 忠司		
	神尾 隆		田中 眞二		
			松本 和彦		
			遠藤 健治		
			清水 正則		
			井上 一人		
			進士 克彦		

(注) 1. 取締役の松井信行、神尾隆は、社外取締役であります。
2. 監査役の松岡正明、渡邊一平は、社外監査役であります。

株式構成 (2016年3月31日現在)

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式数	52,216,463株 (自己株式を含む)
株主数	3,831名

所有者別株式分布



リンナイグループ (2016年3月31日現在)

国内子会社・関連会社 (15社)

製品の製造販売

- (株) 柳澤製作所
- リンナイテクニカ (株)
- (株) ガスター

部品の製造販売

- アール・ビー・コントロールズ (株)
- リンナイ精機 (株)
- アール・ティ・エンジニアリング (株)
- ジャパンセラミックス (株)
- 能登テック (株)
- テクノパーツ (株)

製品の販売

- リンナイネット (株)
- アール・ジー (株)

その他の事業

- リンナイ企業 (株)
- 他3社

海外子会社・関連会社 (29社)

持株会社および製品の販売

- リンナイホールディングス (パシフィック) (株)

製品の販売

- リンナイアメリカ (株)
- 林内香港有限公司
- リンナイカナダホールディングス (株)
- 上海林内熱能工程有限公司
- リンナイプラス (株)
- 広州林内燃具電器有限公司
- リンナイマレーシア (株)
- リンナイ UK (株)
- リンナイイタリア (有)
- 海南林内民生燃具厨衛販売有限公司

製品の製造販売

- リンナイオーストラリア (株)
- リンナイニュージーランド (株)
- 台湾林内工業股份有限公司

- リンナイコリア (株)
- 上海林内有限公司
- リンナイタイ (株)
- リンナイベトナム (有)
- リンナイブラジルヒーティングテクノロジー (有)
- リンナイインドネシア (株)
- プライビスクライメイトシステムズ (株)

部品の製造販売

- アール・ビー・コリア (株)
- アール・エス・コリア (株)
- 上海燃宝控制器有限公司
- 三国 RK 精密 (株)

その他の事業

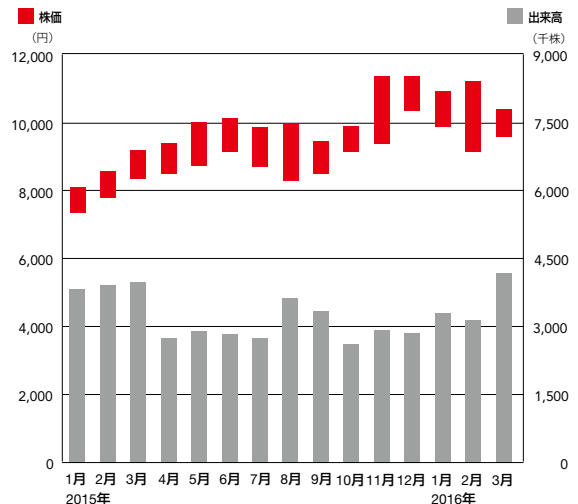
- ジョーダンズNSW (株)
- ガスアプライアンスサービス (株)
- 他2社

● 連結子会社 ■ 非連結子会社 ● 持分法適用関連会社 ■ 持分法非適用関連会社

大株主 (2016年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)
内藤株式会社	6,215
株式会社好兼商事	4,002
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,786
林 謙治	2,502
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,082
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,970
東京瓦斯株式会社	784
日本生命保険相互会社	720
リンナイ共進会	596
内藤 ゆき美	550

株価の推移



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 http://www.rinnai.co.jp ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1-4-1
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1-4-1
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間：平日9:00~17:00 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
株式の上場	東京および名古屋証券取引所 市場第1部

株式に関するお手続きのお申し出先について

- 未払配当金の支払いのお申し出先
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等のお申し出先
 - 証券会社に口座をお持ちの株主様の場合
お取引証券会社等
 - 証券会社に口座をお持ちでないため、特別口座が開設されました株主様の場合
三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

「配当金計算書」について

配当金の支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

※ 確定申告をされる株主様は、大切に保管ください。

かんたん 便利♪

交換部品やお手入れ用品はネットショップで注文できます！

リンナイススタイル
R.STYLE



<http://www.rinnai-style.jp>

リンナイススタイル

検索



リンナイ公式部品販売サイトリンナイススタイルでは、リンナイ製品をより快適に使っていただくためにお客様自身で取り替えられる交換部品やお手入れ用品を販売しています。